

リニア開発 橋本駅周辺整備推進事業は

市民にとって必要か？

～(仮称)大西大通り計画を中心に～

2022年7月18日(月・祝日)

どなたでも
参加できます

■ 午後 2:00～4:30

■ ソレイユさがみ セミナールーム 1 (橋本駅北口徒歩3分 イオン6階)

講師：長谷川 茂雄さん

道路住民運動全国連絡会 事務局長



資料代
500円
申込み不要

今年2月に市のリニア駅周辺まちづくり課が発表した計画は、市費330億という大規模事業。相原高校跡地周辺に4本とリニアトンネルルートに沿うように西橋本の住宅地を貫く1本、合計5本の道路建設だ。この中で、住宅地の(仮称)大西大通りは、第三者委員会の専門家も金額の大きい計画が突然入ったことに驚いた。約150世帯の立ち退き予定者が見込まれるという。行政は8月には測量開始、都市計画説明会・・・と一方的で性急なスケジュール。住民の理解のペースが追いつかない。生存権にかかわる大事なことなのに住民軽視ではないか？納税者の多くの市民が殆ど知らない中で、この事業が進められて良いものか？・・・共に考え知恵をつけましょう。

都市計画法で
市民の財産権が
制限される？

私たちはこれから
なにができる？
地権者の立場から
市民の立場から

JR東海の代理人とし
てリニアの土地買収
する市は相模原だけ
ってホント？

財政難なのに
なぜ大規模開発
が出来るの？



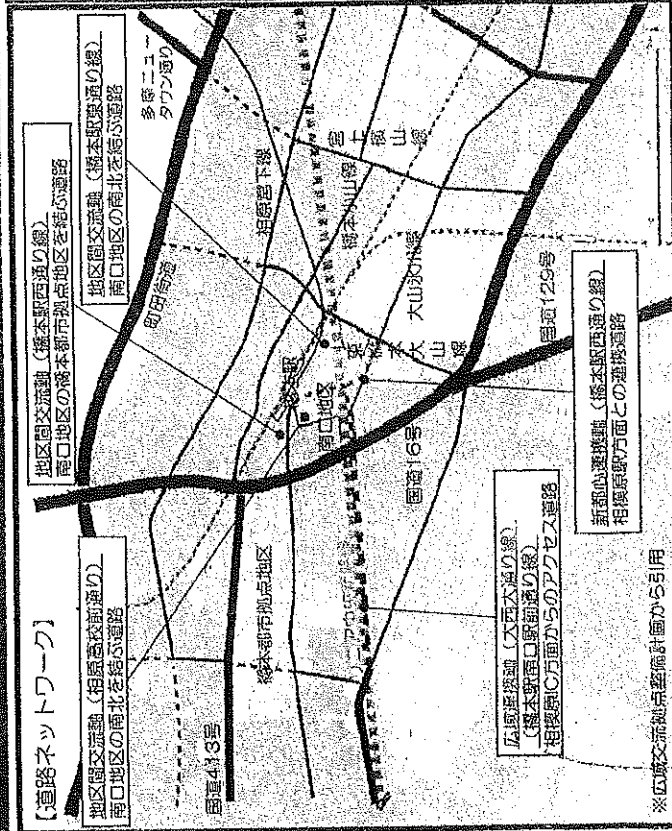
他の事例を
知ろう！

■ 問い合わせ 090-4378-9257(浅賀)・090-8042-8157(桜井)

■ 主催 リニア新幹線を考える相模原連絡会

※会場は密を避け換気に留意します。皆さまにはマスク・検温・手指消毒にご協力をお願いします。

(仮称)大西大通り線の概ねの位置・形状等について



- 相模原ICからの速達性を高めることは、圏央道を活用した広域交通ネットワークとしての拠点形成のために必要である。
- 橋本駅南口周辺の国道16号は慢性的に渋滞しており、橋本駅南口へのアクセスや、まちづくりに起因する交通により、周辺の道路を含め、更に負荷をかけることは難しい。
- 当該道路の新設を前提に交通管理者との協議を調えた結果、国道16号側の交差点を正十字とし、現道を活かすため早めに擦り付け、鉄塔等を避けている。また、津久井広域側の交差点処理は直角となることが望ましいことなどを考慮した形状となっている。
- 用地取得等の方針として、国道16号側から西に向けて順次用地を取得し、事業を進行する。
- 施工段階では財政状況、交通発生状況を勘案し、現道に擦りつけた供用開始を視野に入れ、事業を行う。

